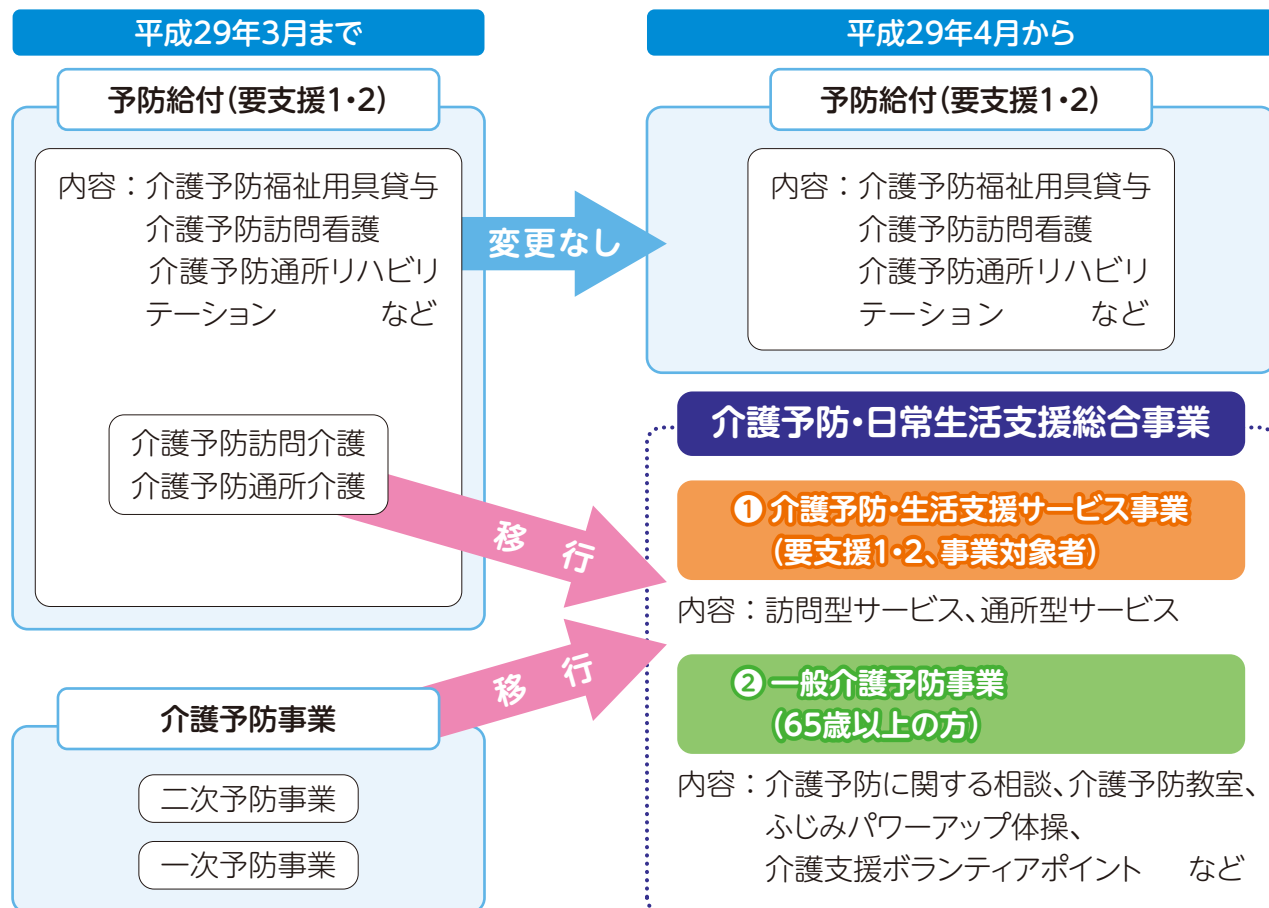


総合事業の特徴

介護保険の予防給付のうち、訪問介護と通所介護が総合事業に移行しました

要支援１・２の方が利用する予防給付のうち、介護予防訪問介護（ホームヘルプサービス）、介護予防通所介護（デイサービス）は、総合事業における「介護予防・生活支援サービス事業」に移行され、平成29年４月から富士見市独自の訪問型サービス、通所型サービスとなりました。



※事業対象者とは、65歳以上で、基本チェックリストで生活機能の低下がみられる方になります。

※サービスの利用については、高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の担当職員が、本人の意向や心身の状態などを確認し、相談して決定します。

※従来の介護予防訪問介護、介護予防通所介護と同程度のサービスを提供することを基本としながら、富士見市の独自の基準による訪問型サービス、通所型サービスを開始し、将来的には多様なサービスの充実を目指します。

社会参加の視点を取り入れた介護予防を促進します

「心身機能」だけではなく、「参加」、「活動」の視点を介護予防に取り入れることで、高齢者が地域や社会の中での役割を持ちながら、いきいきとした生活を継続することを目指します。

多様な主体による多様なサービスを展開していきます

高齢者を含めた幅広い世代の市民、NPO、ボランティア、事業者等、様々な人や団体の活動を支援し、高齢者に対するサービスを充実します。